

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト み や ぎ

No.41

発行
日本ボーイスカウト宮城県連盟
発行日
平成 28 年 7月15日

第5回北海道・東北ブロック野営大会(5HTC)

《日 程》 平成 28 年 7 月 28 日(木)~31 日(日)
《場 所》 福島県猪苗代町「天神浜」

日本連盟 平成 28 年度全国大会開催される





テーマ : Creating a Better World (より良い世界を創ろう) ～if nothing perform, nothing begin 行わなければ始まらない～

平成 28 年 5 月 28 日～29 日の 2 日間、日本連盟 平成 28 年度全国大会が仙台市青葉区の「東京エレクトロンホール宮城」を主会場として、交歓会は「ウエスティンホテル仙台」を会場に開催されました。宮城県での開催は 46 年ぶり。全国から総勢 700 名ものスカウト関係者が集結しました。

本大会は東日本大震災から 5 年目の節目を迎え、震災直後からご支援を頂いている全国の方々に対しての心から御礼を申し上げますと共に復興の現状をお伝えしたいという願いから宮城県にて開催されました。当日は開会行事の他、仙台市役所前市民広場にて「ぼうけん広場」が設置され、県内のスカウトや一般市民の家族連れの方々が 2 日間で約 1,000 名が訪れ、火おこしやロープワーク、モンキーブリッジなどの様々な体験を楽しみました。また、28 日には東京エレクトロンホール宮城で映画「GAMBA ガンバと仲間たち」が上映され、約 500 名の来場者で賑わいました。

開会式では、村井宮城県知事による歓迎の挨拶の後に、宮城県連盟長の功績に対し、日本連盟から村井連盟長に日本連盟功労賞「たか章」が授与されました。歓迎の挨拶では宮城県での開催にあたつての歓迎の言葉や震災支援への感謝の言葉、そして「社会の変化に主体的に対応できる『生きる力』をもつ青少年の育成を目指して、今後も様々な活動に取り組んで頂きたい。」とボーカスカウトのさらなる発展に期待を込めたご挨拶を頂きました。

尚、全国大会の詳しい内容は「スカウトみやぎ号外」をご覧ください。

最後に、準備からご奉仕くださいました宮城県連盟の指導者・保護者の皆様、北海道・東北ブロックの指導者の皆様、ローバースカウトの皆様、本当に疲れ様でした。そしてスカウト関係者はもとより、たくさんのご支援ご協力を頂いた皆様に心より感謝申し上げます。



平成 28 年度 日本連盟表彰(県内表彰者)

| | |
|---------------------|---|
| ★日本連盟 感謝状 | 村 井 嘉 浩(宮 城 県 知 事) |
| | 奥 山 恵美子(仙 台 市 長) |
| | 東海林 良 雲(理 事 長) |
| ★日本連盟 感謝盾 | 郷 家 照 夫(県 連 盟 先 達) |
| ★日本連盟 功労章 | たか章 村 井 嘉 浩(連 盟 長) |
| ★日本連盟 功労賞 | かこう章 今 野 利 夫(県連盟理事) |
| ★日本連盟 団委員長・隊長表彰(褒状) | 佐 藤 恵(仙台第1団 BVS 隊長) 早 坂 光 男(仙台第1団 BS 隊長) 佐 藤 修(白石第1団 BVS 隊長) 佐 藤 早 苗(石巻第6団 BVS 隊長) |
| | 大久保 晃 男(県連盟理事) |
| ★日連感謝章 | 名 取 第 1 団 |
| ★団 50 年章 | 名 取 第 1 団 |
| ★組拠顕彰(優良団 A ランク) | 名 取 第 1 団 |

全国大会参加者数

【スカウト・来賓関係】

| | |
|----------------------------|--------------|
| ◎登録参加者 | 689 名 |
| ◎未登録参加者(表彰のみ) | 10～30 名 |
| ◎宮城県連盟奉仕者(100 名は登録参加) | 225 名 |
| ◎全国からのローバースカウト | 約 75 名 |
| 【一般】 | |
| ◎「ガンバと仲間たち」入場者 | 約 500 名 |
| ◎ぼうけん広場(2 日間) | 親子 約 1,000 名 |
| 参加者総数(2 日間) | 約 2,900 名 |
| (スカウティングエキスポ来場者、諸会議参加者、含む) | |

宮城県連盟総会開催



4月24日、仙台市泉区の泉社会福祉センターを会場に平成28年度宮城県連盟年次総会が開催されました。今年は5月に全国大会が行われるため、例年より早い4月の開催となりました。開会式では、村井嘉浩連盟長(県知事)の式辞を芳賀副連盟長が代読し、続いて年次表彰が行われました。来賓祝辞はご来賓を代表して宮城県教育長(代理:生涯学習課課長 新妻直樹氏)、ボーイスカウト振興国會議員連盟副会長 県連盟顧問 井上義久氏、宮城県議会議員 県連盟顧問 斎藤正美氏より頂戴致しました。

総会の議長は、仙台第35団 白根沢健氏が選任され、第1号議案から第4号議案まで円滑な進行で協議され承認されております。今年度のスローガンは「～活動的で自立したスカウトを育てよう！～」であり、目標は「スカウト運動を活性化し、楽しい仲間作りを広める」です。5月には「平成28年度全国大会」が、7月には「第5回北海道・東北ブロック野営大会(5HTC)」なども予定されています。これら事業を活用しスカウティングの認識度を上げ、加盟員の増加に繋げていくことが必要です。

平成28年度 県連盟表彰

◎県連盟褒状(精励スカウト)

★隼章スカウト

No.27-01 尾形 凜太郎(仙台第28団 VS隊)

★菊章スカウト

No.860 千葉 陽介(仙台第1団 BS隊)

No.861 荒木 瞳雲(泉第1団 BS隊)

No.862 安倍 智貴(石巻第6団 BS隊)

◎県連盟感謝状

二瓶 恵二(陸上自衛隊第22普通科連隊長
兼多賀城駐屯地司令 1等陸佐)

渡邊 裕(仙台地区スカウトクラブ)

◎県連盟褒状(団)

対前年度スカウト加盟員数増加団

◎県連盟有功章

田山 芳明(村田第1団 団委員)

大桑 美紀子(仙台第1団 団委員・地区会計)

青木 儀則(石巻第2団 BS隊長)

・地区副コミッショナー)

仙台第28団 (団委員長 今野 利夫)

仙台第45団 (団委員長 山田 直樹)

名取第1団 (団委員長 橋浦 寛)

泉第1団 (団委員長 高山 雅光)

鹿島台第1団 (団委員長 安倍 毅彦)

石巻第1団 (団委員長 菊池 康博)

迫第1団 (団委員長 佐藤 昌市)

◎平成28年度ボーイスカウト振興国會議員連盟表彰

田端 恭子(泉第2団 CS隊長)

・県連盟指導者養成委員)



5HTC 情報

特別委員会委員長 横澤繁

第5回北海道・東北ブロック野営大会(5HTC)に宮城県連盟から120名派遣

～5年後の宮城での6HTCにむけて県連一丸となって5HTCに取り組みましょう！～

ボイスカウト日本連盟創始95周年記念「第5回北海道・東北ブロック野営大会(5HTC)」は、日本ボイスカウト活動の第1歩を踏み出した福島県猪苗代町の「猪苗代湖天神浜」において、7月28日(木)の開会式から7月31日(日)夜間の閉会式までの4日間、「山・湖・人」のテーマで開催されます。

宮城県連盟からは参加隊3個隊99名(スカウト88名、指導者11名)、大会本部要員等の大会運営スタッフ21名の合計120名が派遣されます。(尚、派遣期間は7月28日～8月1日までとなります)

☆会場

猪苗代湖の東側に位置し、少年団日本連盟第1回野営大会の地であり、大会に参加するスカウトは、スカウト運動の原点に戻り、スカウト精神と生きる力を培い、21世紀の将来を担う青少年として一層の躍進を願うものです。また、会場に隣接する天満宮は全国有数のパワースポットとのことであり、遠浅の湖岸の林の中で快適にそして有意義な野営生活をおくることが期待できます。

☆プログラム

野営生活必須プログラムの宗教儀礼、隊訪問、交歓活動、友情ゲームなど、大会本部提供プログラムのスタートドーム、ハイキング、火おこし、カヌー、ツリーイング、パラグライダー、歴史探訪ハイク、それに自由選択プログラムのロープセイリング、水辺の救急法など会場周辺の環境を生かしたプログラムが多数用意されております。

☆ビーバースカウト・カブスカウトや一般の方の見学

大会期間中の10時から17時まで(但し、7月28日の開会式と31日の閉会式は21時まで)可能ですので、各地区、各団・隊におきまして見学の計画をお立てくださいますようお願いいたします。宿泊につきましては、国立磐梯青少年交流の家の常設テント等を用意しております。詳細は県連事務所にお尋ねください。

5年後の「第6回北海道・東北ブロック野営大会(6HTC)」は、宮城県連盟が担当となりますので、今回の大会に参加のスカウトと指導者は、6HTCにおきましては重要な戦力となることが期待されます。また、今大会には学校行事や仕事の関係で残念ながら参加できなかつた方も是非とも1日でもよろしいですから次の6HTCのためにも見学においていただくことをお願いいたします。

5年後の宮城県での6HTCに向けて、宮城県連盟一丸となって5HTCに取り組みましょう。

平成28年度第1回スカウトセミナー開催

平成28年6月12日(日)、仙台市泉区高森市民センターにて、今年度最初のスカウトセミナー(ボイスカウト講習会)が開催されました。参加者は当初11名の予定でしたが、当日のキャンセルなどもあり、女性2名を含めた9名でした。主任講師は日本連盟副リーダートレーナーの小山猛氏が務め、参加者は講義やハイキング・ゲームを体験し、ボイスカウト運動の概要・教育法とともに楽しさも学びました。

次回は、9月11日に東部地区で開催する予定です。



仙台地区 団委員・指導者懇話会開催される

仙台地区総合委員会

平成 28 年の全国大会が 5 月末に盛大の開催された直後の 6 月 5 日に、仙台市青葉区中央市民センターにおいて、参加者 22 名で開催されました。

第 1 部は昨年度まで日連の会員拡充委員をされておりました中橋邦氏(県連理事・日連リーダートレーナー)による組織拡充についてと 23WSJ の裏話などについて講話を頂きました。28 年 3 月に仙台で会員拡充サミットが開催され、その時の司会進行を中橋氏が行っており、当時集まつた全国の指導者の話を聞いているので、内容は豊富がありました。

第 2 部では乙訓敬仁仙台地区コミッショナーの進行により、全国大会終了後各団に見学者が訪れた場合を想定して、各団の魅力あるプログラムやアイデアを出してもらい、反映してもらえばとの思いもあり、参加者を 4 グループに分け、グループ討議をして貰いました。

終了後は一番町にて懇親会が模様され、仙台地区所属の全国大会運営委員の皆様へ労をねぎらうため、記念品が芳賀文蔵協議会長兼県副連盟長から手渡されました。

また、柿沼富雄総合委員長より芳賀文蔵仙台地区協議会会長から大福もちが送られました。この大福もちは、委員長からのほんの気もちと加盟員の減少が続いている県連・地区的ボーイスカウト運動の土台をもち上げるという 2 つの意味があるようです。抽選会もあり盛会裏に終了しました。



木町通小学校地域合同防災訓練

組織拡張広報委員会委員長 鈴木 美恵子

6 月 25 日 (土)、仙台市立木町通小学校にて「地域合同防災訓練」が開催され、仙台第 1 団の小山猛副団委員長の他、指導者 9 名が講師として参加しました。

はじめに『災害に備えるにはどんなものが必要か』という講話があり、その後参加した 3 年生 (82 名) は「新聞紙スリッパ作り」「ロープ結び」の体験活動に取り組みました。



参加した生徒や保護者は、本結びやもやい結びに苦戦しながらも出来るようになると笑顔を見せっていました。



東日本大震災後、各学校には防災主任が設置されており、各校ごとに保護者や地域をまきこんだ特徴ある防災訓練を実施しています。当日はボーイスカウトの他、気象協会・消防署の職員、気象予報士などがボランティアで講師を務めました。

平成 28 年度 宮城県連盟スカウトフォーラム開催

プログラム委員会委員長 今野 利夫

6月26日(日)塩釜公民館を会場にして開催いたしました「宮城県連盟ベンチャースカウトフォーラム」には、参加スカウト4名(仙台第1団2名・石巻第2団2名)ではありましたが、熱心に討議が行われました。

今回は、第21回全国スカウトフォーラムテーマ「防災⇒減災へ～あしたにそなえて、私たちが出来ること～」と言う内容の為、基調講演「防災について」県連盟会計担当の小笠原正弘氏(元塩釜消防署長)より講演をしていただきました。また、フォーラムアドバイザーとして宮城ユースクルーミーティングに参加しているローバースカウトの和田悠佑氏、長田直樹氏の2名のご協力をいただきました。震災から5年を過ぎ、復興庁では、平成28年6月を「東北復興月間」として、様々な情報を発信しています時に、スカウトフォーラムで防災について討議された事は有意義でありました。参加スカウトは熱心に意見を出し合い、「採択文・アクションプラン・提言文」を作成し、それまとめた最終的なフォーラム宣言は次のとおりです。

第21回全国スカウトフォーラム

- ・テーマ：防災⇒減災へ
～あしたにそなえて、私たちができること～



■採択文

1. 地域自治体のハザードマップを確認し、減災に繋がる効果的・具体的な図示を行なおう。
2. スカウト個人が積極的に地域とかかわりを持ち、関係を深めよう。
3. 減災に繋がるアドバイスピントを提供しよう。

■アクションプラン

1. ボーイ・ベンチャースカウトで、自分達の活動拠点の周辺の危険物や主な避難場所などを自治体のハザードマップを確認しながら地図に書き入れ、地域住民に提供したり市民センターに掲示する。
2. 活動拠点周辺でのあいさつ運動、町内会を手伝うなどの活動をする。
3. 自分たちが防災や減災に関する講演会や災害等の経験者のお話を拝聴して、自分達なりに分かりやすくまとめて公民館などに掲示する(ポスターなど)。

■提言文

◎市民センター等に、スカウトが作成したハザードマップを置くことを目指そう。(許可・同意等の必要性)

◎防災や減災の知識や技能を持っている方の講演の機会を作る企画をし、実施しよう。

この採択文は宮城県内全てのベンチャースカウトが同じ意識の下、採択されましたアクションプランが各団または各地区において実施、展開されますよう各スカウトに周知をよろしくお願い申し上げます。

なお、採択文とアクションプランをベンチャープログラムの中に一つとして取り入れていただきまして、今年度3月に予定しています、「ベンチャー活動発表会」で発表できますよう各隊長のご支援、ご協力をお願い致します。

■スカウトフォーラム参加者(敬称略)

仙台第1団 千葉陽介(高校1年生・BS隊隊付)

斎藤伸阿(高校1年生)

石巻第2団 伊東謙心(高校2年生・副議長)

伊東龍之介(高校1年生)

■アドバイザー(敬称略)

仙台第1団 和田悠祐

仙台第35団 長田直樹



ユース活動紹介

宮城ユースクルーミーティング～in 全国大会～

白石第1団 八巻 浩仁

全国大会には準備段階から参加することができなかったのですが、RCJ の県代表という役割で参加することになりました。RCJ については存在を知ったばかりで何をするのか分からぬ状態で臨んだのですが、参加してみると様々な地域や大学などでそれぞれのローバー活動が行われていることが分かり、非常にローバー活動に対して意欲的になりました。

私は北海道・東北ブロックからブロック代表に選出され、今年一年間 RCJ 運営委員になりました。この立場からローバー活動の楽しさを伝えていければ良いと考えています。



塩釜第1団 鎌田 賢人

私は宮城ユースクルーミーティング(以下 MyCM)というローバースカウトの団体の一員として今回の全国大会に奉仕しました。当日の二日間は基本的にぼうけん広場のスタッフとして奉仕し、その合間、もしくは終わった後は MyCM の一員として他県から来られたスカウトたちと交流しました。当日は天気に恵まれ、ぼうけん広場には多くの子供たちが遊びに来られました。これを機に少しでも多くの方にボーイスカウトを知ってもらい、新たな入団者が増えていけば良いなと思いました。また、他県のスカウトとディスカッションを行って今までの自分のボーイスカウト活動を見直したり、BBQ を行って親睦を深めたりと、この二日間でとても良い経験ができました。

～お知らせ【RCJ クエスト 2016in 高萩 参加者募集開始！】～

ローバースカウトおよび同年代の指導者の皆様、9月のご予定はいかがですか？

来る9月17日～19日に高萩スカウトフィールドにて開催される、RCJ クエスト 2016in 高萩の参加者募集が始まりました。

ロバーマート 2005 以来、11 年の時を経て開催されるローバースカウト年代の全国イベントです。野営生活の中で、高萩スカウトフィールドの開拓と「ローバーフェス(交流会)」を行います。多くのご参加お待ちしております。皆さん、高萩でぜひお会いしましょう！

http://www.scout.or.jp/event/rejq_2016.html



スカウツ スピリットを繋ぐ① ~三位一体のスカウティング~

杉原 正：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 顧問・先達

私たちは今人生 80 年という状況の中で、学習すること、勉強することは日々の生活の中でも必要なことです。その学習が留まるのではなく、ぜひ後に続く子供たちのところに届くことが大切です。同様にスカウト精神をどのように繋げていくのか、今日的な大きな課題ではないでしょうか？

これだけ頑張っているのに成果が見えてこないとぼやく声を聞きますが、それはこの 3 つのものが体現できていない。いわゆる三位一体。これはキリスト教の言葉ですが、3 つのものが一つになって初めて成り立つということを、もう少し丁寧に考えていく必要があるのではないかでしょうか。皆様それぞれこのスカウト運動に入ってきた経緯は違うと思います。仕事が違い、それぞれの年齢も違い、あるいはスカウト経験が有る無しなど違っていいと思います。けれども、これからどうやって若者たちにメッセージを伝えていくか、基本的な事を伝えていくかということについては共通に理解する責任があると思います。

やはり基本を大事にするということをもう一回確認をしておかないと、多くの青少年団体の中でも「ちかい」「おきて」ということをベースにしている我々の団体にとって、大事なことが少し影が薄くなってしまうのではないかと感じています。我々自身もしっかりとスカウティングという尊厳を踏まえてやっていきたいと思っています。

スカウト精神とはどういうものなのかを言葉で言うことは、正直言ってなかなか難しいかと思います。私たちが何かに迷った時に、ボーイスカウトは何かということを考える時に、ベーデン・パウエルは色々なものを残しています。その象徴的なものはスカウトに残した「最後のメッセージ」ではないかと思います。「どのように生きるか」ということを文章の中に残しています。

このことをもう一度考えると「今あるもので満足し、それを最大なものにしない。お金持になったり、栄達に成功したりすることが本当の幸せではないのだ。振り返ってみれば自分の人生というのは、人に幸福を分け与えることによって自分自身は幸福に生きた。とにかく時間を無駄にしないで生きたという喜びを感じるのだ」ということを残しています。

最後に、「おきて」を実行するように。そうすれば神様が君たちを守ってくださるということが明言されています。

(第 57 回全道スカウティング研究協議会 記念講演より)

■県連盟ホームページスクチームよりお知らせ

平成 25 年 7 月に開設した県連盟ホームページは、毎月(1 カ月間)のアクセス数が約 700 件ですが、全国大会が開催された 5 月は約 1800 件のアクセスがあり、5 月 28 日(大会当日)の 1 日だけで約 200 件のアクセスがありました。

Facebook では、全国大会開催前の「ぼうけん広場」「GAMBA ガンバと仲間たち」上映のお知らせを多くの方々にシェアして頂いたこともあります。アクセス数が約 2600 件。開会式のアクセス数は約 1100 件で、こちらも多く皆様にご覧頂いております。今後もご覧ください「いいね!」「シェア!」を拡散してください。

◆県連盟ホームページ

<http://www.scout-miyagi.jp/>

◆県連盟 Facebook

「ボーイスカウト宮城県連盟」で検索

■編集後記

今年度に入ってから、一通の封筒が私のところに届きました。中には、北海道連盟にてご講演された日本連盟顧問・先達の杉原 正氏の言葉が入っていました。送り主は宮城県連盟先達の郷家照夫氏。先達の方々が私たち指導者やスカウトに伝えようとしている「スカウツスピリット」を何回かに分けて掲載していくので、お楽しみに！
(鈴木)

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■編集 宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 鈴木 美恵子

委 員 白根沢 健 小野寺 康 松本 康男
渋谷 純 小野寺 純 大沼 茂雄

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷 1 丁目 4 番 1 号

宮城県多賀城分庁舎内

TEL022-355-6265/FAX022-355-6267

HP URL <http://www.scout-miyagi.jp/>